



留学生のみなさんへ

新型コロナウイルス感染症が世界的な蔓延を見せています。愛知県では、4月10日、大村秀章知事によって緊急事態宣言が発令されました。県内における感染症は、一時的に当初の勢いを失ったとはいえ、この数日、再拡大の気配を見せており、予断を許しません。その意味で今回の緊急事態宣言をきわめて重く受け止める必要があると考えます。

私たちの名古屋外国語大学では、2020年度新学期の学部授業開始日を通常より2週間あまり遅らせ、4月27日（月）とすることをすでに発表しております。これは、2011年3月の東日本大震災以来とされる重大な局面に鑑みた、緊急的措置です。今回、この措置を、皆さんの所属する国際日本語教育インスティテュート（IJLE）にも適用します。それと同時に、4月27日以降の授業につきまして、原則的にインターネットを活用した授業（オンライン授業等）のみでの開講とすることを決定致しました。今回の試みは、未知の、かつ未経験のものであり、今後その実現の過程で、数々の困難が生じることが予想されますが、留学生、教職員がともに協力しあい、真摯な気持ちで取り組めば、必ずや、これまでと変わる事のない成果を生み出すことができるものと確信しております。

さて、祖国から遠く離れ、主に国際寮で生活しておられる皆さんにとっては、毎日の生活が不安に満ちたものであると想像します。4月10日の段階で、世界全体では150万人、NY州では、15万人の感染、死者は7千人をこえています。しかし、皆さんの祖国のみならず、皆さん自身にも試練の時が訪れてきました。緊急事態宣言は、不要不急の外出を禁じるものです。

どうか皆さんは、わたしたちNUFSの一員であるという誇りと自覚をもって行動していただきたいと思います。何よりも、自粛をお願いしていただきたくお願いします。寮内の生活にあっても、つねに社会的距離を忘れることなく、生活してください。私たちには、皆さんを守る義務があります。しかし、かりに一人でも感染者が発生した場合には、寮の閉鎖といった事態に追い込まれる可能性もあります。むろん私たちは、皆さんの健康のために万全の措置を講じますし、お守りします。しかし最終的にこの恐ろしいウイルスから生命と健康を守るのは、皆さん一人一人の自覚なのです。どうかそのことを忘れることなく、日々の厳しい試練に耐えていただけますよう心からお願い申し上げます。

名古屋外国語大学長  
亀山 郁夫

2020年4月10日